

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和元年9月24日(火) 午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告・その他報告事項

令和元年度 横浜市教育課程研究委員会 総則部会及び専門部会 前期研究協議会について
横浜市指定文化財 横浜共立学園本校舎の改修工事完了について

3 審議案件

教委第25号議案 教職員の人事について

4 その他

令和元年9月24日

教育委員会臨時会 一般報告

1 市会関係

○9/12 こども青少年・教育委員会

○9/20 本会議（第3日） 議案議決、決算上程・決算特別委員会設置・付託
決算第一・決算第二特別委員会（審査日程等協議）

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○9/10～ 心の教育ふれあいコンサート

(2) 報告事項

○令和元年度 横浜市教育課程研究委員会 総則部会及び専門部会 前期研究協議会について

○横浜市指定文化財 横浜共立学園本校舎の改修工事完了について

3 その他

令和元年度 横浜市教育課程研究委員会
総則部会及び専門部会 前期研究協議会について

本市教育委員会では、市立学校の教育課程の編成・実施・評価・改善を促進し、学習指導の充実を図るため、教育課程研究委員会 総則部会及び専門部会を組織して研究を進めています。毎年、8月に前期研究協議会を開催し、事務局説明、研究成果の発信、参会者による意見交換を行います。

令和元年度の前期研究協議会は、8月19日に特別支援学校専門部会、20日に総則部会、21日・22日に各教科等・個別支援学級・通級指導教室等の専門部会、並びに高等学校教育課程研究委員会という日程で開催しました。

「横浜教育ビジョン2030」を受けて策定した「横浜市立学校 カリキュラム・マネジメント要領」に基づき、総則部会では学校経営の視点に立ったカリキュラム・マネジメントについて、専門部会では「じっくり考え 高め合い 次につながる確かな学び」の実現に向けた授業改善の視点に立ったカリキュラム・マネジメントについて、積極的な協議が行われました。



1 令和元年度 教育課程研究委員会 研究テーマ

未来を拓く横浜の教育

～社会に開かれた横浜らしい教育課程の創造～

総則部会 … 学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

～これからの時代に求められる資質・能力の育成～

専門部会 … 各教科等や特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

2 令和元年度 教育課程研究委員会 総則部会及び専門部会 参加者数一覧

部会名(会場)開催日	参加者数									提案者数
	小学校	中学校	義務教育学校	高校	特別支援学校	国大附属	私立学校	事務局(指導主事等)	合計	
総則(関内ホール)20日	641	270	6	0	22	0	1	60	1000	36
国語(保土ヶ谷小)22日	438	175	2	0	10	3	3	14	645	15
社会(大綱中)22日	419	207	2	0	1	0	2	9	640	10
算数、数学(豊岡小)22日	414	181	3	0	5	1	1	13	618	14
理科(井土ヶ谷小)21日	403	184	4	0	8	1	1	10	611	13
生活(南公会堂)22日	378	0	2	0	4	0	1	5	390	11
YICA、外国語(帷子小)22日	392	202	3	0	6	0	2	9	614	14
音楽(立野小)21日	414	144	3	0	5	1	2	3	572	14
図画工作、美術(保土ヶ谷公会堂)22日	376	132	2	0	5	0	0	3	518	9
家庭、技術・家庭(神奈川小)21日	401	174	6	1	8	1	2	6	599	13
体育、保健体育(神奈川公会堂)21日	427	180	4	0	7	1	1	18	638	12
道徳(港南中)22日	388	164	3	0	6	1	0	3	565	7
特別活動(岡野中)21日	454	154	2	0	7	0	0	13	630	12
総合的な学習の時間(鶴見公会堂)21日	401	137	4	0	7	0	0	7	556	14
個別支援学級(平沼小)22日	417	151	4	0	5	0	0	11	588	11
通級指導教室等(戸塚小)21日	201	35	1	0	4	0	0	7	248	8
特別支援学校(開港記念会館・花咲研修室)19日	5	3	1	0	260	0	0	11	280	13
高等学校(戸塚高校)22日	0	0	0	194	7	0	0	6	207	12
合計	6569	2493	52	195	377	9	16	208	9919	238

(裏面あり)

3 令和元年度 教育課程研究委員会 前期研究協議会の発信

<総則部会からの発信>

「横浜市立学校 カリキュラム・マネジメント要領 総則・総則解説」を活用した学校経営について提案しました。

教育委員会事務局説明

- (1) 文部科学省「令和元年度小学校及び中学校 各教科等担当指導主事連絡協議会」報告
- (2) 教育課程研究委員会総則部会及び専門部会の研究について
- (3) プログラミング教育の推進に向けて
- (4) 専門部会からの報告

総則部会委員提案

キーワード: 資質・能力の育成に向けた「グランドデザイン」「カリキュラム・マネジメント」

第1WG 「進み続ける学校経営～グランドデザインを描く～」

第2WG 「カリ・マネに全職員が参画するために」

第3WG 「資質・能力を育成するためのカリ・マネの実際」

鼎談 テーマ:「これからの学校経営」

文部科学省初等中等教育局財務課

校務改善専門官 島谷 千春 氏

横浜国立大学

副学長 高木 まさき 氏

横浜国立大学大学院 教授

附属横浜中学校長 松原 雅俊 氏



<専門部会からの発信>

「横浜市立学校 カリキュラム・マネジメント要領 教科等編」を活用した教育課程の編成、授業改善、指導と評価の在り方、プログラミング教育等について提案しました。

プログラミング教育の発信

来年度から必修となるプログラミング教育について、ICTを活用してプログラミング的思考を育成することを踏まえて、全教科等でその考え方について発信しました。特に、「国語科」「算数科、数学科」「理科」「図画工作科、美術科」「個別支援学級」の各専門部会では、授業実践を伴った提案をしました。

◇国語科: 人物の魅力を伝える文章を書く学習と「プログラミング的思考」の育成を関連付けた実践(5年)

◇算数科: iPadのプログラミングゼミを活用した実践(6年)

◇理科: センサーを使ったプログラミング体験の実践(6年)

英語の教科化に向けた発信

来年度から、小学校において英語が教科化されるに当たり、指導と評価の在り方、授業改善につながるための評価等についての発信をしました。

<特別支援学校からの発信>

特別支援学校高等部の新学習指導要領への対応として、「学びの連続性」「自立と社会参加に向けた教育の充実」「移行措置の留意点」等について提案しました。また、特別支援学校における学習指導要領における学習評価とプログラミング教育についても、個々の障害の状況に応じたプログラミング教育を推進していくことが確認されました。

<高等学校からの発信>

全体会では、各学校のグランドデザインの紹介と教育改革を見据えた講演が行われました。また、総則、各教科、特別活動、総合的な探究の時間等の分科会ごとに活発な研究協議が行われました。

横浜市指定文化財 横浜共立学園本校舎の改修工事完了について



横浜共立学園本校舎は、W. M. ウォーリスの設計による建物です。柱や梁などの軸部を露出させる「ハーフティンバー様式」が用いられ、木造の温かみのある素朴なデザインが長年親しまれてきました。昭和63年には横浜市の指定有形文化財（建造物）第1号として指定され、現在も現役の教育施設として利用されています。

本年7月、竣工以来初めてとなる大規模な保全改修および耐震補強工事が完了しました。今回の工事では、耐震補強に必要な鋼材を目立たない位置に取り付けたり、壁の内部を合板で補強したりして外観や内装の意匠を損なわない工夫が施されました。改修費の一部は市内企業（約150社）からも多額の寄付をいただいているとのこと。

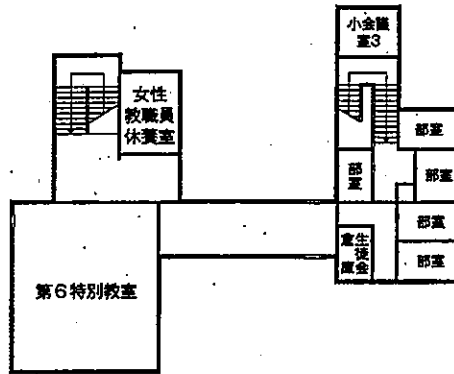
改修前は主に教職員室・倉庫等の用途で使われていましたが、今後は図書室・食堂・自習室・生徒会室等、生徒の利用できるエリアが広がった施設になります。



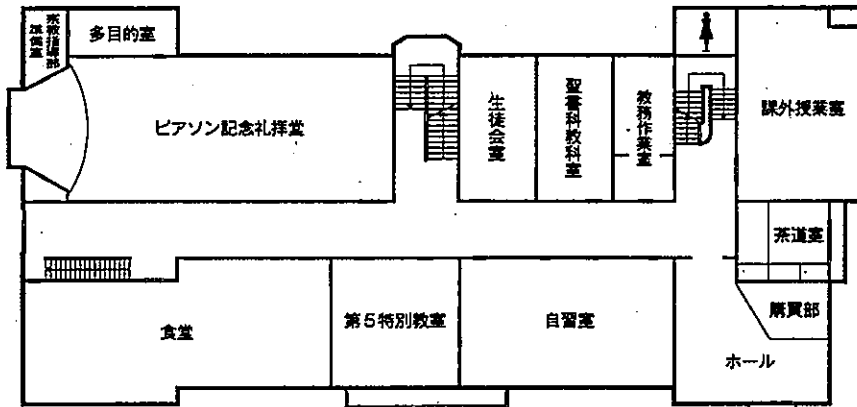
名称：横浜共立学園本校舎
構造および形式：木造三階建、寄棟造
竣工年月日：昭和6年9月14日
指定年月日：昭和63年11月1日

写真①：東側階段
写真②：1階図書室
写真③：ピアソン記念礼拝堂

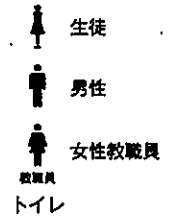
本校舎平面図



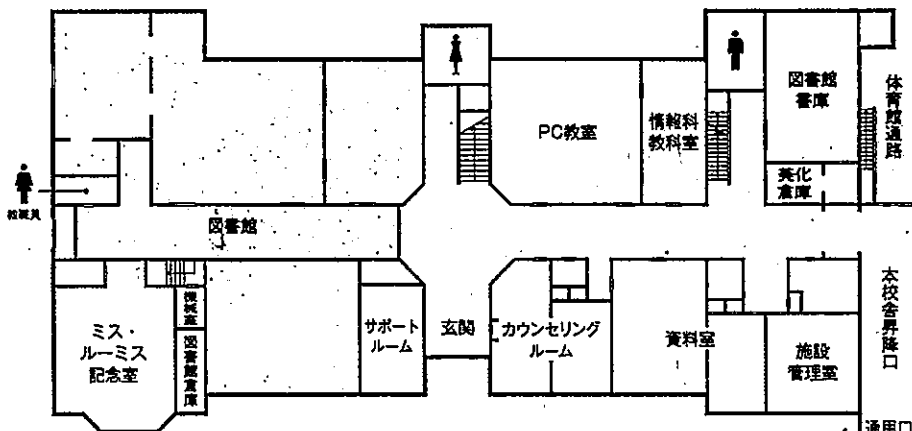
3F



2F



南校舎へ
南校舎へ



1F

南校舎へ



B1F